

志津小学校 創立150周年を祝う会

明治9年（1876年）3月3日、「志津学校」という名前で、本校は創立し、同年9月1日、34名の児童で開校したそうです。明治5年に学制が頒布されて各地域で学校を作ることになり、創立に至るまでには、北川静里先生をはじめ、志津の地域の方の多大なるご協力やご寄付があったと聞いています。それから150年の月日が流れ、令和8年（2026年）3月3日、創立150周年を迎えました。草津市長、草津市教育長をはじめ、校旗を寄付してくださった地域の方や志津小学校の学校運営協議会の皆様を迎え、全校児童と教職員、約1200人が一堂に会しました。



校旗の披露があり、寄付をしてくださった方に市長から感謝状が贈られました。ご寄付をしていただき、誠にありがとうございました。

その後、草津キッズシネマ塾が制作された「歴史と緑のあるまち志津」の映画を鑑賞しました。志津学区は、たくさんの人々が住む場所であるとともに、工業団地もあり、また自然に恵まれた歴史のある場所であることがドローンの映像からわかりました。

子どもたちは、150周年の節目に、志津学区や志津小学校のことをよく知り、ふるさと志津のことがますます好きになったようでした。



～令和2年に発刊された「ふるさと志津の原風景」より毎回1枚の写真を取り上げて現在までの変化を振り返ります～

志津小学校「校旗」のものがたり



「米国人形歓迎会」に写る校旗（昭和2年3月3日）



栗太郡→草津市



「志津小学校創立150周年を祝う会」（令和8年3月3日）

学校の校旗は、入学式や卒業式など学校の大事な式典や行事に掲出されます。左の写真は、昭和2年（1927）3月3日に雛祭りとして併せて行われた「米国人形（青い目の人形）歓迎会」の様子です。アメリカの子どもたちから日本の子どもたちに、友好のしるしとして贈られた12,739体の人形の一つが志津小学校にも届き、盛大に歓迎会が催されました。しかしながら、昭和16年に太平洋戦争へと突入し、この友情の人形はその多くが敵国のものとして焼き捨てられたそうです。式場の右手に掲出されている校旗を見ると、「栗太郡志津小学校」の校名が確認できます。この校旗は、大正12年（1923）に「校旗樹立式」が行われ、爾来百年余りにわたって受け継がれ、途中「栗太郡」の刺繍を「草津市」の刺繍に変えながらも、志津小学校で学ぶ子どもたちを見守り続けてきました。しかしながら近年傷みが甚だしく、「新しい校旗の新調」が長年の課題となっていました。右の写真は、令和8年（2026）3月3日「志津小学校創立150周年を祝う会」の様子です。150周年を記念して新しい校旗が欲しいとの学校の願いを受け、卒業生でもある高岡實さん（追分町）から新しい校旗がご寄贈されました。

草津市長より感謝状が贈られ、校長より全校児童1,076名に喜びの披露がなされました。旧校旗からバトンを受けた新校旗は、新しい学校のシンボルとして、3月18日の卒業証書授与式で掲出され、177名の卒業生を見送ると共に、4月には入学する新1年生を迎えます。

編集後記

春は新しい生活が始まる季節です。小学校や中学校に入学する子どもたちも、新たな一歩を踏み出します。安心して毎日を過ごせるよう、これからも地域ぐるみで温かく見守っていきましょう。まちづくり協議会も新体制でのスタートとなります。これからも地域の発展に向けて取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。（服部）



まちづくり協議会
ホームページ



公式LINE友達追加

新年度のご挨拶

このたび志津まちづくり協議会会長を拝命致しました宇野敬造でございます。さて、令和8年度から第4次まちづくり計画がスタート致します。基本理念「誰もが志津に暮らして良かったと感じるまちづくり」を目指してまいります。人口が市内で一番多く、さらに発展中の志津学区に於いて、輝かしい未来がある一方で課題も多く多岐にわたっています。そのような時こそ、町内会・自治会とまちづくり協議会が一体となり、お互いに協力し合って、共に志津のまちづくりを推進してまいりたいと思っております。皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



志津まちづくり協議会 会長 宇野敬造

志津まちづくりトピックス

志津ふれあい広場 志津小150年物語

第4次志津まちづくり計画がスタート

志津まちづくり協議会令和8年度事業計画

各プロジェクト 令和8年度活動計画

志津まちづくりセンターからのお知らせ

各プロジェクトからのお知らせ

志津小学校の地域学習取り組みレポート

志津の今昔写真

志津まちづくりセンターからのお知らせ

講座名	講座の内容	開催時期	定員
志津ときめきクラブ	高齢者を対象とした文化、教養講座	令和8年5月～3月 (第1金曜日が基本)	50名
スキルアップ Canva講座	画像作成編集ソフトCanvaを学ぶ講座	日程:未定	10名
陶芸講座	地元の土を使った陶芸の作品づくり講座	令和8年8月頃	10名
味噌づくり講座	味噌づくりを通して、健康づくりを学ぶ講座	令和9年1月30日	15名
人権講座	人権について学び、人権の知識を深める講座	第1回 7月25日 第2回 1月30日	各回 60名

開催予定講座

*開催日、参加費等については、決まり次第志津まちづくりセンターのHPでお知らせします。

志津まちづくりセンターの(4/1～)使用料が改定されます

草津市の貸館使用料見直しにより、4月1日の利用分からセンター使用料が改定されます。

使用料改定の概要

(単位 円)

時間帯	大会議室		その他の部屋	
	旧料金	新料金	旧料金	新料金
9:00～12:30	1,300	1,400	400	500
13:00～17:00	1,400	1,600	500	変更なし
17:30～21:00	1,600	1,800	600	変更なし

住民が主役の
まちづくり拠点

志津まちづくりセンターを是非ご利用ください

居場所づくり

子ども食堂
乳幼児のサークル
高齢者学級

カフェの開設(ぶらっと茶屋)
各種講座の開催
本の貸出
マルシェなどイベントの開催

回収サービス



乾電池/蛍光灯/ライター

※電球、ボタン電池、バッテリーは回収できません

その他のサービス

コピー機や印刷機の利用

ご注意

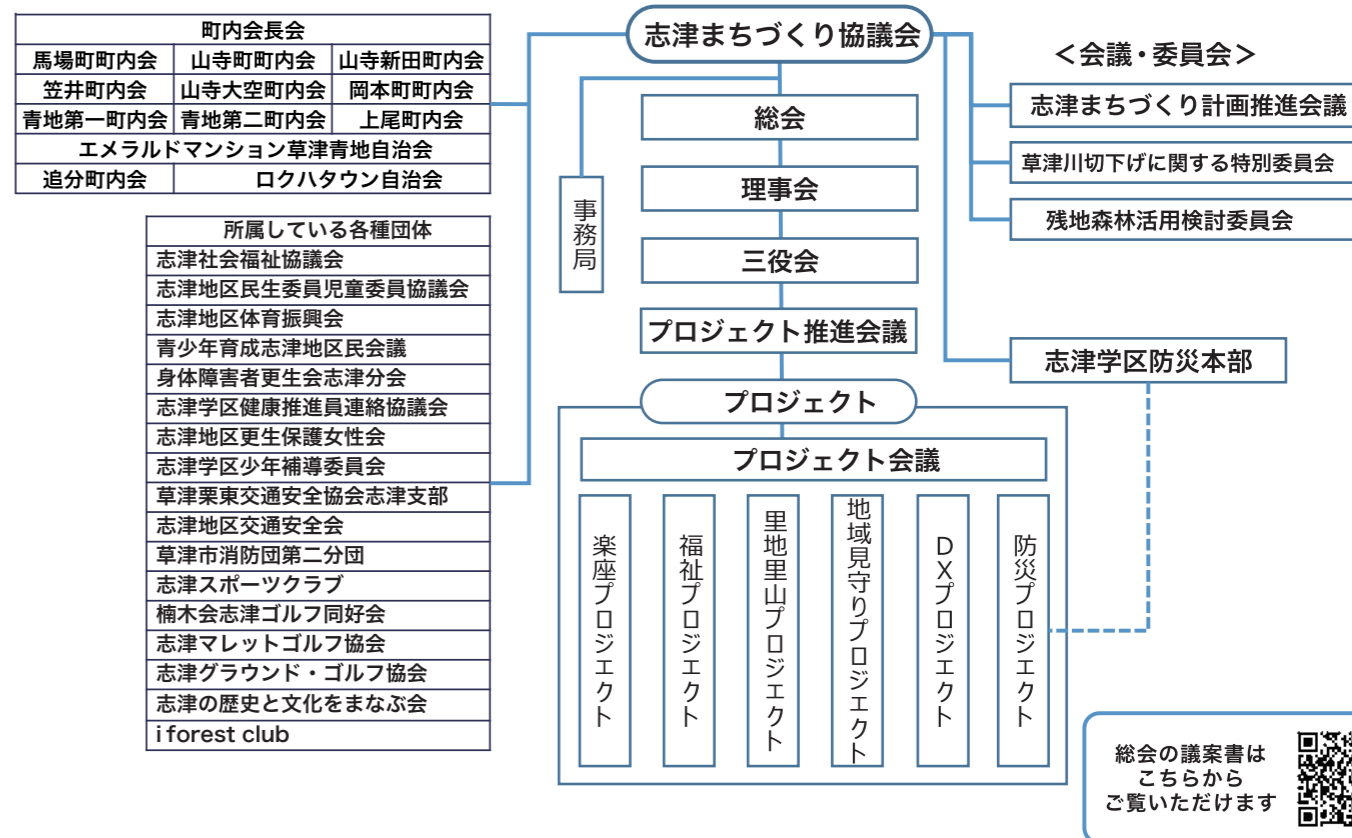
センターでは
取り扱っておりません

住民票、印鑑証明、
戸籍謄本などの発行は
マイナンバーカードを
持って、お近くのコンビニへ

志津まちづくり協議会 令和8年度活動方針

令和8年度から12年度の5年間第4次志津まちづくり計画がスタートします。そのため、令和7年度に策定した志津まちづくり計画の新しい基本理念「誰もが志津に暮らして良かったと感じるまち」の実現に向けて4つの基本方針①支え合えるまち、②安全で安心なまち、③自然とともに学び・育むまち、④つながりのあるまちを柱に沿って活動を推進してまいります。そのために一人ではできないこともつながればできることを大切に連携から生まれるまちづくりを目指してまいります。特に6つのプロジェクト同士の連携や12の町内会・自治会との連携から生まれるまちづくりを目指してまいります。

志津まちづくり協議会組織



新役員名簿

役職名	氏名
会長	宇野 敬造
副会長	我孫子 清章
副会長	木村 隆文
事務局長	政川 純子
楽座プロジェクトリーダー	奥村 美佳
福祉プロジェクトリーダー	伴野 義幸
里地里山プロジェクトリーダー	山元 義宣
地域見守りプロジェクトリーダー	田淵 進
防災プロジェクトリーダー	林 文男
DXプロジェクトリーダー	佐々木 昭彦

<退任のご挨拶>

志津学区の皆さまへ
志津まちづくり協議会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。このたび任期満了により会長を退任いたします。令和2年度から6年間、皆さまに支えていただき務めることができ、心より感謝申し上げます。コロナ禍での「ふれ愛まごころ便」は、地域のつながりの大切さを改めて感じた取り組みとして心に残っております。これまでのご支援に深く御礼申し上げますとともに、志津学区のますますの発展と皆さまのご健勝をお祈り申し上げます。

令和7年度 会長 奥村 次一

楽座プロジェクト

地域拠点を活かして世代を超えた交流を広げ、新たな人材や仲間づくりを進めます。

【楽座マルシェ】

マルシェイベントを通じて交流を深め、地域の仲間づくりと継続的なつながりを育みます。

【楽座チャレンジ】

ワークショップで思いや企画を共有し、地域に関わる人や活動の広がりを生み出します。

【夏休み子ども居場所事業】

夏休みの子どもの居場所づくりを通じ、学びや交流、人材発掘を進めます。

【第36回志津ふれあい広場】

ロクハ公園を交流の広場とし、地域の魅力を育てる全プロジェクト合同事業を進めます。



里地里山プロジェクト

里地里山を活用し、自然保全と人材育成を通じて持続可能な地域づくりを進めます。

【志津里山自然学校】

自然体験を通じて環境意識を高め、地域の自然を守り継ぐ人材育成を進めます。

【里山整備事業】

活動拠点を整え、木材活用も進めながら学び使い守る循環型の里山を目指します。

【志津野良仕事楽校】

休耕地活用で自然循環を学び交流を深め、地域活性化と特産品づくりを進めます。



DXプロジェクト 名称が変わりました

情報発信基盤を活用した地域DXで、利便性向上と誰もが使いやすい情報環境を目指します。

(注釈)→Digital Transformation(DX)の定義

私たちはDXをまちづくりのニーズや価値観の変化を的確に捉え、データやデジタル技術を活用して、情報発信や各種サービスの利便性を高める取組と定義します。あわせて、事業の進め方や組織体制、役割分担、町内会・自治会や地域団体との関係を見直し、より効果的で持続可能なまちづくりの仕組みを確立していくことを目指します。

【まちづくり通信の発行】

紙とデジタルを連携した広報で、地域活動への関心と参加を高めます。

【LINEを活用した地域情報ツールの導入】

LINE活用の地域情報基盤を整え、情報発信と連絡手段の充実を進めます。

【IT活用研修】

講習会や相談体制を通じ、高齢者も安心して使えるデジタル環境づくりを進めます。

【インターネット環境維持管理】

センター利用者が快適にネット環境を利用することができるようWiFiの維持管理を行ないます。



福祉プロジェクト

高齢化や障がいに対応し、地域共生で支え合う持続可能な福祉づくりを進めます。

【高齢者健康長寿まちづくり】

町内会支援や研修、意見交換を通じて高齢者福祉と健康長寿のまちづくりを進めます。

【ぶらっと茶屋 居場所づくり】

センターの交流スペースを活用したカフェ運営で居場所を広げ、孤立防止と地域交流を進めます。

【志津くすのきレストラン】

子ども食堂を運営し、世代を超えて集える地域の居場所づくりを進めます。

【健康ひろば(まちの保健室)】

健康チェックや相談、けん玉講座を通じて病気・介護予防と健康寿命延伸を図ります。

【認知症があっても安心なまち】

認知症への理解と予防を地域で深め、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

【まめタク利用促進】

交通不便地の移動手段を確保し、高齢者の閉じこもり予防と利便性向上を進めます。

【緊急医療情報キット「安心のボタン」】

高齢者や障がい者へ安心のボタンを届け、緊急時の迅速な救助につなげます。

【その他地域福祉に関する事業】

ふれあいと支え合いで、住み続けたいまちを目指す福祉活動を進めます。

- (1) 高齢者障害者との交流ふれあいサロン
- (2) 高齢者の福祉対策支援
- (3) 地域福祉交流会
- (4) お互い様のまちづくり



地域見守りプロジェクト 名称が変わりました

地域一体で見守り活動を充実させ、子どもの安全安心な通学環境づくりを進めます。

【通学路見守り事業】

学校や地域と連携し、通学路の安全確保と見守り強化で事故や犯罪のないまちを目指します。

【高齢者見守り事業】

講習会を通じて詐欺や空き巣被害を防ぎ、高齢者が安心して暮らせるまちを目指します。



防災プロジェクト

防災計画に基づき訓練や人材育成を進め、地域防災力と迅速な対応力を高めます。

【地域防災力向上事業】

志津学区防災計画に基づく研修と訓練で、災害に強く安心して暮らせるまちを目指します。

